

あ るべきまちの姿を考える

市は、「湯沢市ゼロカーボン推進計画」の策定に向け、市民・市内の各団体・学識経験者など計7人で構成する「市民会議」を立ち上げ、その第1回目の会議を市役所本庁舎で開催しました。

本会議は複数回開催され、今後は9月26日(火)と11月13日(月)に市役所本庁舎にて開催予定です。



ふるさと応援大使 情報交換会

湯沢市ふるさと応援大使のかたがたと市との情報交換会が、4年ぶりに都内のホテルで開催されました。

会では、市長が市政などについて報告し、出席した大使の皆さんからは近況を伺うとともに、これからの応援大使の活動についてさまざまなご意見やアイデアをいただきました。



デジタル変革がもたらすものとは

市は、デジタル変革(DX)への理解を深めようと、湯沢北中学校と稲川中学校で特別授業を行いました。

授業では、デジタル企業がどうやって利益を得ているのか、なぜ無料のサービスを提供できるのかを学んだほか、AIが仕事をどう変えるのかなどを話し合い、AIを使って何ができるかを体験。生徒たちは、デジタル技術をどのように自分たちの生活や仕事、そして夢の実現に活用できるかを考え、意見交換をしました。



▲湯沢市デジタル変革アドバイザー(CDO補佐官)の柿崎 充氏が講師を務めました

全日本学校関係緑化コンクールで受賞

学校林の伐採および植樹、製材の見学や木工体験などの森林資源循環学習が評価され、山田中学校が「令和4年度全日本学校関係緑化コンクール(学校林等活動の部)」で準特選(国土緑化推進機構会長賞)を受賞しました。

生徒代表の^{とみやひより}富谷妃由さんは「70年前に植樹され、先輩方が大切にしてきた学校林の伐採はとても貴重な体験。これからも山田の自然を守る取り組みをしていきたい」と、受賞を喜びました。



▲写真左から、大沼由和校長、生徒代表の富谷妃由さん、和田教育長(当時)